

Isa

Chapter 15

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

נִדְמָה	מוֹאֵב	עָר	שָׂדֵר	בַּלַּיִל	כִּי	מוֹאֵב	מִשָּׂא	1
滅ぼされた	モアブの	アルが	破壊された	夜のうちに	なぜなら	モアブに-対する	宣告	
H1820	H4124	H6144	H7703	H3915		H4124		
		נִדְמָה:	מוֹאֵב	קִיר-	שָׂדֵר	בַּלַּיִל	כִּי	
		滅ぼされた	モアブの	キル	破壊された	夜のうちに	なぜなら	
		H1820	H4124		H7703	H3915		

モアブについての託宣。アルは一夜のうちに荒されて、モアブは滅びうせ、キルは一夜のうちに荒されて、モアブは滅びうせた。

מִדְבָּא	וְעַל	נְבוֹ	עַל-	לְבָבִי	הַבְּמוֹת	וְדִבּוֹן	הַבַּיִת	עָלָה	2
メデバで	そして-上に	ネボと	上に	泣く-ために	高き-所へ	ディボンが	家が-そして	上った	
H4311				H1065	H1116	H1769	H1006	H5927	
	נְרוּעָה:	זָקוּן	כָּל-	קַרְחָה	רֵאשִׁיו	בְּכָל-	יַיִלִיל	מוֹאֵב	
	剃り-落とされた	ひげが	すべての	禿髪が-あり	その-頭に	すべての	泣き-叫ぶ	モアブは	
	H1639	H2206	H3605	H7144		H3605	H3213	H4124	

デボンの娘は高き所にのぼって泣き、モアブはネボとメデバの上で嘆き叫ぶ。おのおのその頭をかぶるにし、そのひげをことごとくそった。

יַיִלִיל	כָּלָה	וּבְרַחֲבֵיהָ	גַּגְתֶּיהָ	עַל	שָׂק	תָּנְרוּ	בְּחוֹצְתֶיהָ	3
泣き-叫ぶ	皆が	そして-その-広場で	その-屋上で	上に	荒布を	まとった	その-通りで	
H3213	H3605	H7339	H1406		H8242	H2296	H2351	
					בְּבִכְיִי:	יָרַד		
					涙の-中で	下り-行く		
					H1065	H3381		

彼らはそのちまたで荒布をまとい、その屋根または広場で、みな泣き叫び、涙に浸る。

כֹּן	עַל-	קוֹלָם	נִשְׁמַע	יְהִי	עַד-	וְאֶלְעָה	חֶשְׁבוֹן	וַתִּזְעַק	4
それゆえ	それ-ゆえ	その-声が	聞こえる	ヤハツまで	まで	エルアレが	ヘシボンと	そして-叫ぶ	
			H8085	H3096	H5704	H0500	H2809	H2199	
			לֹו:	יָרַעַה	נַפְשׁוֹ	יָרִיעוּ	מוֹאֵב	חֲלָצִי	
			彼の-中で	震える	その-魂が	叫ぶ	モアブの	武装した-者が	
				H3415	H5315	H7321	H4124		

ヘシボンとエレアレとは叫び、その声はヤハツまで聞こえる。それゆえ、モアブの兵士は声をあげ、その魂はおののく。

שְׁלִשְׁיָה	עֲגֻלַּת	צֶעֶר	עַד-	בְּרִיחָהּ	יִזְעַק	לְמוֹאֵב	לְבִי	5	
雌牛の-ように	三歳の	ツォアルまで	まで	その-逃亡者は	叫ぶ	モアブの-ために	わたしの-心が		
H7992		H6820	H5704	H1280	H2199	H4124			
זַעֲקַת-	חורֵנוֹם	דֶּרֶךְ	כִּי	בֹו	יַעֲלֶה-	בְּבִכְיִי	הַלּוֹחִית	מַעֲלָה	וְכִי
叫びを	ホロナイムの	道で	なぜなら	そこを	上る	泣きながら	ルヒトの	上り-坂を	なぜなら
H2201	H2773	H1870			H5927	H1065	H3872	H4608	
							יַעֲרֹו:	שָׁבַר	
							上げる	滅びの	
							H5782	H7667	

わが心はモアブのために叫び呼ばれる。その落人はゾアルおよびエグラテ・シリシヤにのがれ、泣きながらルヒテの坂をのぼり、ホロナイムの道で滅びの叫びをあげる。

יֶרֶק	רֶשֶׁא	כָּלָה	חֲצִיר	יָבֵשׁ	כִּי־	יִהְיוּ	מִשְׁמֹת	נִמְרִים	מִי	כִּי־	6
緑が	青草が	尽きた	草が	枯れた	なぜなら	なる	荒れ-果てる	ニムリムの	水が	なぜなら	
H3418	H1877	H3615		H3001		H1961	H4923	H5249	H4325		

לֹא	הִיָּה:
ない	ない
H3808	H1961

ニムリムの水はかわき、草は枯れ、苗は消えて、青い物はない。

יִשְׂאוּ:	הָעֲרָבִים	נָחַל	עַל	וּפְקָדָתָם	עֲשָׂה	יִתְּרָה	כֵּן	עַל־	7
運ぶ	柳の	川の	上で	そして-その-蓄えを	積んだ	余剰を	それゆえ	それ-ゆえ	
H5375	H6155			H6486		H3502			

それゆえ、彼らはその得た富と、そのたくわえた物とを携えて、柳の川をわたる。

יִלְלָתָהּ	אַגְלִים	עַד־	מוֹאָב	גְּבוּל	אֶת־	הַזְעָקָה	הַקִּיפָה	כִּי־	8
その-叫びが	エグライムまで	まで	モアブの	境を	(対格)	叫びが	巻き-囲んだ	なぜなら	
H3215	H0097	H5704	H4124	H1366	H0853	H2201			

יִלְלָתָהּ:	אַיְלִים וּבְאֵר
その-叫びが	そして-ベエル-エリムまで
H3215	H0879

その叫びの声はモアブの境をめぐり、その嘆きの声はエグライムにいたり、またその嘆きの声はベエル・エリムにいたる。

נוֹסְפוֹת	דִּימוֹן	עַל־	אֲשִׁית	כִּי־	דָּם	מָלְאוּ	דִּימוֹן	מִי	כִּי־	9
さらなる-ものを	ディモンに	上に	加える	なぜなら	血で	満ちた	ディモンの	水が	なぜなら	
H3254	H1775		H7896		H1818	H4390	H1775	H4325		

אֲדָמָה:	וְלִשְׂאֲרֵית	אֲרִיָּה	מוֹאָב	לְפָלִיטָת
地の	そして-残りの-者に-対して	獅子を	モアブの	逃れた-者に-対して
H0127	H7611		H4124	H6413

デボンの水は血で満ちる。わたしはデボンの上にさらに災を加え、モアブののがれた者とこの地の残った者にと、ししを送る。